



# 寒工高改築工事かわら版

工事についてお気づきの点がございましたら、右記にご連絡ください。

## 第4号

基礎躯体工事と埋戻し工事を進めています。



7月は猛暑にも拘らず、協力会社の皆さんのおかげで、順調に工事を進めることが出来ました。先月に引き続き、熱中症対策をしながら安全に工事を進めていきたいと考えています。

さて、現在の工事の状況は、【体育館棟】は基礎躯体工事が完了し、基礎の埋戻し工事を、【管理棟】は基礎躯体工事行っており、8月初旬に基礎コンクリート打設を行なう予定でいます。【産振棟】は根切り工事が完了し、基礎躯体工事を行なっています。

埋戻し工事やコンクリートの打設に伴い、まだしばらくは大型車両が出入りする日が続きますが、安全に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

(左写真) R4.7.28北側上空より



【管理棟】コンクリート打設は大勢の作業員で工事を行ないます。

【体育館棟】出来上がった基礎の躯体は監理者、教育庁担当者に確認してもらいます。



【体育館棟】基礎埋戻し工事中です。

### ～型枠工事とは？～



そもそも、型枠とは何で出来ていて、どこに使うものなのか？型枠は、一般的には合板製と、鋼板製のものに大別されます。鋼板製は工場生産されるものに多用され、建設現場では合板製が多く使われています。合板型枠は、コンパネといわれるベニヤ板に栈木やパイプ、セパレーターや金具を組み合わせ、設計図の形状に組み立て、そこに液状のコンクリートを流し込むための仮設部材になります。

完成した建物に型枠は残りませんが、コンクリートを使用するのに必要不可欠で重要な工事になります。



①施工図通りに組立てます。



②コンクリート打設します。



③打設時、通りを確認します。



④コンクリート硬化後、脱型します。

### 「脱水・熱中症」に注意！

まだまだ暑い日が続きます。体が暑さに順応できなくなり、屋外のみならず、屋内でも温度や湿度が高い環境下にいると、体内の水分塩分バランスが崩れて、体温調節機能が働かなくなって現れる症状を熱中症と言います。熱中症かも…と思ったら早めの対応をすることで重症化を防ぐことができます。

#### ◇熱中症が疑わしい人がいたら

- 涼しい場所へ
- からだを冷やす
- 水分補給



水分はとれるか



意識があるか？

自分で水が飲めない、意識がない場合は、すぐに救急車を！

### 8月の工事予定

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 8/継続         | 基礎埋戻し、基礎鉄筋、型枠組立   |
| 8/5.24       | 管理棟基礎、ピットコンクリート打設 |
| 8/9.11.23.26 | 産振棟基礎コンクリート打設     |
| 8/25.        | 体育館ピットコンクリート打設    |
| 8/12~17      | お盆休み              |

※上記予定は、天候等によりズレが生じる場合があります。

工事期間中は、安全を最優先に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

